



学校だより

令和5年11月30日
横浜市立太田小学校
12月号

ヒストリー みんなで つくる HISTORY

校長 丸山 稔

明治6年(1873年)に、本校は、東福寺境内に立志学舎として誕生しました。横浜市が誕生する16年前のことです。以来150年、横浜の発展と共に本校は歩んできました。しかし、その歩みは決して順風満帆ではなく、太田小学校は、火災、震災、戦災など度重なる辛苦を乗り越えてきました。

中でも、1945年5月29日の横浜大空襲で児童14名の尊い命を奪われ、校舎が焼失して休校を余儀なくされた時代はどんなに辛く苦しい時代であったかと想像します。校舎を失った太田小学校は、当時清陵高校や清水ヶ丘公園の辺りにあった横浜高等商業学校(後に横浜国立大学経済学部継承)や東小学校に間借りしたりした後、1947年に南太田小学校に併合されてしまいます。その後、太田小学校を大切に思う人々の尽力により1949年に南太田小学校太田分校として元あった場所(現在の場所)で教育活動を再開し、1952年にやっと太田小学校として独立開校するのです。

本校第18代校長、有馬禮治先生は、在任中、創立120周年記念誌「おおた」に、次のように記していらっしゃいます。

…けれど、南太田小学校に統合された翌年から再開校に向けての活動が始まりました。分校建設のためのバザー、校舎確保のための交渉、陳情等、幾多の困難を克服し、四年後の昭和二十七年(1952年)、ついに独立にこぎつけることができました。こうした活動を中心になって推進したのは、地域、父母の方々でした。極めて厳しい状況にありながら、熱意を持って最大限の努力をされた様子を聞いたたびに、頭のさがる思いがいたします。…

児童と保護者や地域の方々は「復活」という言葉で、独立再開校を喜び合い祝ったと言います。その喜びはいかばかりだったかと思えます。

創立150周年記念歌「太田のたからばこ」(作詞 6年楠本彩乃さん)の歌詞に「みんなで つくる HISTORY 想いのカタチがSTORY」という言葉があります。「歴史はヒーローや権力者など一部の人がつくるものではない。歴史は私たちみんなでつくるものだ。みんなの思いが目に見える形になったものが物語。みんなで物語を紡ぐ、物語の主人公になろう。」というメッセージが込められています。本校の歴史と、このメッセージが重なります。

